

家畜市場 価格の推移 (7月)

▼子牛価格(三次家畜市場)

(単位：円・頭・kg・%)

種類	入場頭数	成立	取引	最高	最低	平均	体重
スモール	雌	9	9	100.0%	162,000	1,080	49,080
	雄	200	195	97.5%	89,640	3,240	60,135
計	209	204	97.6%	162,000	1,080	59,659	61
F1	雌	215	198	92.1%	228,960	1,080	155,013
	雄	233	223	95.7%	268,920	23,760	196,115
計	448	421	94.0%	268,920	1,080	176,389	60
ホルス(5才) 雌	50	48	96.0%	395,280	103,680	254,751	767

▼搾乳素牛価格(北海道)

(単位：円・頭)

市場	開催日	出場頭数	成立頭数	成立率	最高価格	最低価格	平均価格
南北海道	4日	96	74	77.1%	655,560	293,760	462,006
北見	7日	369	249	67.5%	662,040	374,760	510,671
十勝	8日	868	717	82.6%	778,680	240,840	551,939
釧路	9日	236	136	57.6%	733,320	270,000	500,691
根室	10日	379	272	71.8%	717,120	376,920	518,972
豊富	11日	270	151	55.9%	603,720	284,040	497,723
合計		2,218	1,599	72.1%	778,680	240,840	507,000

業務報告 (7月分)

- 31日 卸売交付式
- 29日 芸北酪農県民会総会
- 28日 広酪ホルスタイン改良同志会役員会
- 25日 甲奴・神石同畜産祭
- 24日 中酪連理事会
- 23日 飼料イネに係るTMR説明会
- 22日 中国地区B&Wシヨウ決算報告会
- 21日 牛乳普及協会総会
- 20日 広島県知事等畜産振興協議会申請
- 19日 フードフェスティバル実行委員会
- 18日 JAA会中監査機構準備調査
- 17日 西部ミルク会視察研修
- 16日 酪農教育ファーム推進委員会
- 15日 全酪連ブロック別短会自公協議
- 14日 牛群審査・体形調査(四日間)
- 13日 全国酪農発表大会リハーサル
- 12日 全酪連役員推進協議会
- 11日 東部管内女性部・庄原みくくの会交流会
- 10日 食中審査防衛調査
- 9日 西部DMS入刀会
- 8日 第5回理事会
- 7日 神石地域酪農士生産者協議会総会
- 6日 世襲部酪農振興協議会総会
- 5日 西部酪農会研修会
- 4日 JAA会中監査機構一般監査(四日間)
- 3日 一般監査入付調査
- 2日 三原市酪農振興会総会
- 1日 フードフェスティバル出店者説明会
- 全酪連代表理事とのヒアリング
- 一山地方酪農協会の総会
- 安芸高田中酪連協会の総会
- 全酪連大阪支所・熊本自酪TMR利用農家視察受入
- JAA会中監査機構監査講習
- 全国酪農青年女性大会酪農発表大会(二日間)
- 広島県信用基金協会の総会
- 飼料イネ研修会
- ヘルパー調整会議
- シヨウジ交流会実行委員会
- 広島県酪農振興協議会畜産研修(二日間)
- (農)ワールドみわTMRセンター視察受入
- 広島県酪農振興協議会みわTMRセンター視察受入
- 北広島酪農協会の総会
- 三次市酪農振興協議会役員会
- 東城酪農協会の総会
- JAA農作業安全推進委員会
- 第2回牛乳生産基礎維持拡大研修会
- 高宮DMS入刀会
- 庄原地区畜産推進会
- 山陽酪農協会の総会
- 毒刺物準備講習会
- 生乳安全・安心確保担出者会議
- MILK●JAPAN企画運営会議
- 特産品づくり講座
- 口和町酪農組合総会
- 全酪連通信総会
- 中酪連通信総会
- 酪農普及推進
- 衛生指導協会事業推進会議
- 北広島町畜産推進
- 西部DMS入刀会
- ひろく女性グループ連絡協議会委員会
- 農林年全一時全説明会
- 飼料イネに係る協議
- 山口県酪みわTMRセンター視察受入

編集後記

- ▼今年の夏は猛暑日が予想されまし
た。
- ▼確かに七月後半は摂氏三十五℃を
超す猛暑日が続きました。
- ▼しかし、八月に入ると一転、大雨・
雷雨・洪水警報が出され、各地で
水害による甚大な被害状況が報じ
られました。
- ▼広島県内でも、被害は例外では無
く、災害にあわれた方にお見舞い
申し上げます。
- ▼八月九日には、台風十一号が広島
県を直撃との見通しから、かつて
経験した牛舎倒壊や死亡など痛ま
しい災害の再来が脳裏を過ぎりま
した。
- ▼広酪では、組合員の皆様に対して、
台風十一号接近に伴う注意喚起の
文書をファックスし、身体の安全
対策・乳用牛など財産の安全対策
を呼び掛けました。
- ▼幸いにも、大きな被害が無く安堵
したところ です。
- ▼夏の雨は、不快指数を高めます。
酪農家の愛牛達は、どの様に感じ
ているのでしょうか。
- ▼中国生乳販連の生乳生産量に目を
向けると、七月下旬乳量は、前年
対比九十三・三%と約七%の落ち込
みとなっています。
- ▼会員別前年対比の状況は、岡酪
九十五・二%、広酪九十四・八%、

市町別生乳受託量の進捗状況(7月)

(単位:トン)

市町名	生乳生産量	生産占有率	前年比(同月)	26年度累計	前年比(累計)
庄原市	980.3	23.0%	102.0%	3,966.2	101.3%
三次市	823.0	19.3%	95.8%	3,378.5	94.3%
世羅町	580.6	13.6%	105.6%	2,317.0	108.7%
北広島町	397.4	9.3%	83.9%	1,645.6	83.8%
安芸高田市	370.0	8.7%	99.1%	1,540.0	97.8%
東広島市	357.0	8.4%	103.6%	1,521.0	108.8%
府中市	227.6	5.3%	89.1%	963.6	92.3%
福山市	121.4	2.9%	97.1%	527.5	99.4%
広島市	103.9	2.4%	54.3%	418.3	53.7%
三原市	96.9	2.3%	83.0%	389.0	84.5%
神石高原町	88.7	2.1%	88.9%	376.4	91.3%
廿日市市	61.7	1.5%	106.6%	250.9	96.2%
呉市	49.9	1.2%	99.8%	214.5	107.8%
合計	4,258.5	100.0%	95.5%	17,508.5	95.9%

プール乳価(7月)

7月分プール乳価	前月分プール乳価	前月対比
107.787円/kg	109.577円/kg	98.3%

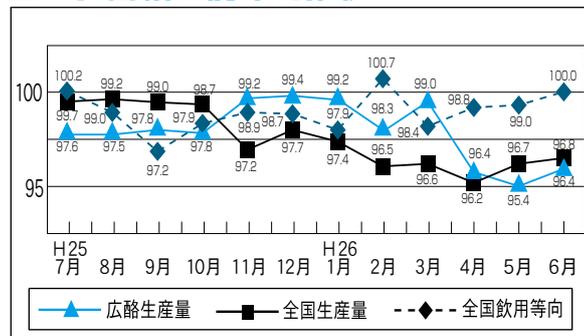
生乳受託実績(7月)

地域	備北	南部	西部	東部	合計
生乳出荷組合員戸数(戸)	44	12	45	45	146
生乳出荷量(トン)	1,590.0	406.8	933.1	1,328.5	4,258.5
前年同月対比(%)	99.0%	103.1%	85.1%	97.7%	95.5%
前月対比(%)	98.7%	95.1%	100.7%	100.3%	99.3%
生乳出荷累計(トン)	6,491.5	1,735.5	3,854.9	5,426.6	17,508.5
広酪構成比(%)	37.1%	9.9%	22.0%	31.0%	100.0%

市町別の生乳出荷組合員による購買品利用高の状況(6月)

No	市町名	購買品利用高(千円)	生乳出荷量(トン)	購買品利用占有率	生乳1kg当たりの購買品利用高(円)
1	庄原市	46,868	990	28.20%	47.3
2	三次市	35,122	831	21.10%	42.2
3	安芸高田市	19,482	368	11.70%	52.9
4	北広島町	16,232	393	9.80%	41.3
5	府中市	15,127	237	9.10%	63.8
6	世羅町	6,830	567	4.10%	12.0
7	三原市	6,082	95	3.70%	64.0
8	福山市	6,058	125	3.60%	48.4
9	東広島市	5,713	375	3.40%	15.2
10	廿日市市	3,524	62	2.10%	56.8
11	神石高原町	3,524	88	2.10%	40.0
12	広島市	1,462	102	0.90%	14.3
13	呉市	295	52	0.20%	5.6
	合計	166,326	4,290	100.0%	38.8

生乳需給の前年比推移(6月) (単位:%)



国実 良荘(所属:みわTMRセンター)

退職(平成二十六年七月三十一日付)

お世話になりました。

○人事異動のお知らせ

▼組合員の皆様におかれましては、計画的に後継牛確保を行われますようお願いいたします。

▼この発信は、平成二十六年一月～三月期の黒毛和種の乳用牛への交割割合が、全国平均で三十三・一%、都府県は四十七・三%と過去最高水準に近づいていることから、今後の乳用後継牛の確保が困難になることを懸念してのものであります。

▼農林水産省生産局畜産部畜産振興課長・牛乳乳製品課長は、全国的に生乳生産の減少が続く中、生乳生産基盤の確保を喫緊の課題と認識し「乳用牛の後継牛確保について」の書面を関係行政や団体に発信し呼び掛けています。

▼七月の広酪生乳受託日量の平均は百三十七トン。広酪の年間生乳生産計画数量は五万トンですが、単純にこの達成には、一日平均出荷乳量百四十トンが必要となります。

全農島根九十三・〇%、大山乳業農協九十九・八%、山酪八十八・四%であり、生乳生産基盤の脆弱化は否めません。